

飛翔

JA さわいせさぎ

2~3ページ

水稻の育苗管理と病害虫防除

7ページ

食農教育活動や地産地消に
取り組んでいます

14ページ

農機センター店舗統合のお知らせ

2024

3

Vol.373



(左から)

後列 / 塩谷克子さん・剛久さん・蓮さん

前列 / パート職員の川島さん・小池さん

(表紙の紹介は裏表紙)

水稲の育苗管理と病害虫防除

近年、育苗期間中が高温となることが多く、苗立枯病やもみ枯細菌病、徒長苗等の発生が増加しています。また、本田においてもばか苗病やいもち病等の発生が見受けられています。次のポイントに留意し、健苗育成と適正な病害虫防除に努めましょう。

1 育苗管理

(1) 育苗箱・培土の消毒

苗立枯病対策として育苗箱の消毒を行うとともに、購入した培土の消毒も行いましょう。

前年にいもち病やばか苗病が発生した場合、播種機等も消毒を行ってください。

(2) 種子更新と

比重選

病害対策や良質米栽培のため、採種は産種子を使用しましょう。

比重選は、未熟粒を取り除き発芽

表1 比重液

種類	水10ℓあたり 硫安	または 食塩
うるち	2.9kg	2.0kg
もち	1.9kg	1.1kg

率を高めるとともに、いもち病やもみ枯細菌病の罹病率を取り除くことができます。(表1)

(3) 種子消毒

薬剤はいもち病、ばか苗病、もみ枯細菌病等に適用のあるものを選び、浸漬処理します。薬液は種もみの2倍用意し(種もみ1kgに対して薬液2ℓ)、浸漬中はかく拌して消毒液が全体に行き渡るようにします。

(4) 浸種・催芽

種もみに対して約4倍の水に浸します。積算水温(水温×日数)は100℃が目安で、ハトムネ状態になるまで浸漬します。酸素不足にならないよう1〜2日毎に水の交換を行います。

(5) 播種・出芽

もみ枯細菌病予防のため、水温が30℃を超えないよう、直射日光の当たらない場所に置いてください。

軟弱徒長や苗立枯病の予防のため、厚播きは避けましょう。(表2)

出芽は苗立枯やもみ枯細菌病対策として、30℃を超えないように注意しましょう。

表2 中苗の例

箱あたり 播種量	育苗日数	葉 齢	草 丈
100g (乾粃)	25~ 30日	3.5~ 4.5葉	15~ 20cm

(6) 出芽後の水管理

①緑化

湿害による生育不良を防ぐため、育苗プールに並べて3日程度は水

を張らずにジョウロで上からかん水します。また、寒冷紗等をかけて、強い光と寒さに当てないように注意しましょう。

②硬化

緑化したらプールに2cm程度水を張り、表面が乾いたら入水を行います。水温の上がりすぎに注意し、時々水の入替えをしてください。深さは軟弱徒長や根腐れを助長するため注意しましょう。

③苗の追肥

2〜3葉期頃に肥切れが見られたら、1箱あたり水500mlに対し硫安3〜5gを溶いて追肥します。葉に硫安水が残る場合は、上から水をかけてください。

2 病害虫防除

(1) もみ枯細菌病

育苗中に発生すると坪枯れ(腐敗症状)となります(写真1)。育苗プールの中で他の苗へ感染が広がるため、発生した場合すみやかに隔離し、処分しましょう。本田では、出穂期の高温多湿条件で多発し、不稔穂となります(写真2)。

比重選、種子消毒、箱施用剤で防除を行ってください。また、浸漬、出芽時の高温は発生を助長するため注意しましょう。



写真1 苗の腐敗症状



写真2 もみ枯症状

(2) いもち病

葉いもち(写真3)は低温(25℃前後)で湿度が高く、夜露が切れにくい条件が続くと発生しやすくなります。穂いもち(写真4)は病斑が止め葉に多く形成されたり、出穂後に低温と降雨が連続すると発生しやすくなります。また、補植用等の取り置き苗は、苗いもち等(写真5)の発生源になりやすいので、すみやかに処分しましょう。

比重選、種子消毒、箱施用剤、本田発生初期や出穂期前後の薬剤散布で防除します。窒素過多は発生を助長するため、適切な肥培管理を心がけましょう。



写真3 葉いもち



写真4 穂いもち



写真5 苗いもち

(3) ばか苗病

糸状菌(カビ)による病害で主に種子伝染します。育苗中は茎葉が黄化し、細く長く伸びて徒長します(写真6)。本田では徒長、黄化し、やがて枯死して株元に胞子を形成します(写真7)。



写真6 徒長苗(育苗)



写真7 徒長苗(本田)

被害苗を確認したら抜き取ってください。本田で発生が見られたら株ごと抜き取り、土中に埋没させてください。

比重選、種子消毒により防除を行うとともに、前年に発生がある場合、資材消毒も徹底しましょう。

(4) 紋枯病

夏期の高温多湿で多発し、窒素過多の場合被害が大きくなります(写真8)。本年の発生が多い場合、翌年の越冬菌核の増加にもつながります。また、止め葉まで垂直進展すると倒伏等の原因となります(写真9)。



写真8 紋枯病



写真9 多発による倒伏

適正な肥培管理で過繁茂を防ぎ、箱施用剤や本田での薬剤防除を行ってください。

(伊勢崎地区農業指導センター)

農業法人協議会 研修会

1月18日、JA佐波伊勢崎農業法人協議会は本店で労務管理研修会を初めて開き、協議会員ら8人が参加しました。

今回は法人の経営者や法人化を検討する生産者を対象とし、群馬県農業経営・就農支援センターと共催で行いました。講師は特定社会保険労務士の関一之さんが務め、従業員の権利・義務と法人の法的責任を中心に、具体的な事例や法令のポイントなどを説明しました。



にじのきらめき実績報告・食味会



1月18日、JA佐波伊勢崎米麦連絡協議会は本店で実績報告・食味会を開き、会員や役職員ら20人が参加しました。

実績については、主力品種「あさひの夢」より出穂期・成熟期が数日早く、多収量性に優れると報告。しかし、生育ムラなど品質面での課題が見られるため、今後も試験栽培を続けていきます。

食味会では、銘柄を伏せて管内産米の「にじのきらめき」「あさひの夢」「ひとめぼれ」「コシヒカリ」を食べくらべ、評価しました。

なす・きゅうり選果場利用組合第8回通常総会

1月29日にJA佐波伊勢崎きゅうり選果場利用組合が、2月2日にJA佐波伊勢崎なす選果場利用組合が、本店で第8回通常総会を開きました。

総会では「令和5年度事業報告並びに収支決算承認の件」「令和6年度事業計画並びに収支予算設

定の件」などすべての議案が承認されました。

なす選果場利用組合では令和5年度優秀者表彰が行われ、ハウスなす・露地なすそれぞれでA品率の最優秀賞・優秀賞が表彰されました。



▲あいさつする高橋昇組合長（きゅうり選果場利用組合）



▲令和5年度優秀者表彰



中干し延長で収入へ

2月1日、営農支援課は本店で、中干し期間延長によるカーボンプレジット認証・所得説明会を開き、発酵粗飼料(WCS)用稲や飼料用米を生産する法人の代表者17人が参加しました。

説明会では、生産者の追加収入につなげようと、温室効果ガスの排出削減量を認証する「J-クレジット制度」への理解を深めました。

群馬県農業構造政策課の担当者が実証事業を報告した後、生産者の脱炭素化を後押しする株式会社フェイスの担当者が取り組みやサポート体制などを説明しました。



経営支援研修会

2月2日から14日にかけて、佐波伊勢崎集落営農法人連絡協議会は、本店・たまむら支店・たまむら営農センターの3か所で経営支援研修会を開き、24法人が参加しました。

インボイス制度が始まってからは初の研修会で、今回は法人毎の個別経営相談方式で行いました。多くの法人は6年の経過措置期間に対応を検討する方針で、状況に応じて組織再編の必要性も話し合いました。また、高齢化が進む農業の担い手や後継者の問題など、法人が抱える課題についても聞き取りました。

JA合併30周年記念講演会

2月1日、JA佐波伊勢崎米麦連絡協議会は本店でJA合併30周年記念講演会を開き、協議会員や農事組合法人、認定農業者の役員ら72人が参加しました。

講演会は取引企業から情勢を聞くことで生産意欲や所得向上につなげるために企画。株式会社神明は「現状分析とこれからの水稻農業について」、星野物産株式会社は「小麦情勢と佐波伊勢崎産小麦の使用実例について」と題し、講演を行いました。

参加者は「農業を取り巻く環境は厳しいが頑張っていきたい」と意気込みを話しました。



▲株式会社神明の講演

辛味だいこん栽培講習会

2月8日、JA佐波伊勢崎園芸協議会辛味だいこん専門部会はJAセンターさかいで辛味だいこん栽培講習会を開き、生産者18人が参加しました。

講習会では、ほ場準備として厳寒期は事前にうね立てとマルチをして、地温と土壤水分を確保するなど説明がありました。病害虫については、今後気温が高めで、降雨が少なく乾燥している場合に多発するアブラムシ類に注意するよう呼びかけました。

また、秋冬品種の出荷終了日の厳守を確認しました。



▲あいさつする長田泰彦部会長

飼料高騰対策助成金申請受付

1月19日から25日にかけて、当JAは伊勢崎市が行う飼料高騰対策助成金の申請受付を行いました。

この事業は配合飼料高騰の影響を受けた市内の畜産農業者の負担軽減をするため、飼料購入経費の一部を助成します。

受付では、事業の説明を交えながら配合飼料の購入数量がわかる書類などを基に手続きを行いました。



伊勢崎市農業再生協議会総会

2月9日、伊勢崎市農業再生協議会は本店で、令和5年度総会を開きました。

農家や行政、JA担当者などの会員が参加し、「令和5年度農業再生協議会事業実績について」「令和6年度農業再生協議会役員の選任について」「令和6年産米の生産目安について」など、すべての議案が承認されました。



管内生産者が講師

2月7日、群馬県担い手育成総合支援協議会はJAビルで2023年度「ぐんまいきいきファーマー研修会」を開催しました。

研修会では、管内でミニトマトを栽培する畑裕樹さんが効率的な作業の標準化に向けた試みなどを紹介しました。他にも県内で活躍する若手農業者が事業戦略や経営改善の取り組み、今後の目標などについて講演しました。



講演する畑さん

▶個別での相談会



資産形成セミナーを開催

1月17日、金融事業部はフェリーチェ玉村国際小学校で職員様向けの資産形成セミナーを開催しました。

セミナーでは将来に向けた資産形成の必要性や、新NISA制度などについて説明しました。また、興味を持たれた方には個別での相談会を実施し、資産形成の重要性や必要性を伝えました。



露地なす施肥設計面談会

2月15日、当JAはあずま営農センターで露地なすの施肥設計面談会を開きました。

事前に土壌診断を行い、面談で昨年の施肥や生育状況を聞き取りました。その結果をもとに、土壌に合わせた施肥設計を提案し、複数種類を一度に施肥できる「セルブレンド」やおすすめの資材などを紹介しました。



農家研修発表会

2月9日、令和5年度新採用職員6人は本店で、昨年11月に実施した農家研修の発表を行い、研修受入先の農家とJA役職員が参加しました。

研修は5日間行い、野菜の調製やハウスのビニール掛けなどさまざまな農作業を体験し、農業のやりがいや大変さを学びました。

◆研修受入農家（ ）地区名

膳 宗雄さん(いせさき) 塩谷 剛久さん(さかい)
内田 貴之さん(たまむら)

🌱 食農教育活動や🏠 地産地消に 取り組んでいます!!

1/20
(土)

コープぐんま ブロッコリー&アレッタ収穫交流会

交流会は食農教育と管内産の農産物の消費拡大を目的とし、「産地」と「消費者」が交流できる貴重な場として長く続いているイベントです。当日は雪の予報も出ている寒い日でしたが、生協組合員の親子36人が参加し、JA佐波伊勢崎アレッタ生産グループ代表の手嶋裕一さん、JA佐波伊勢崎園芸協議会ブロッコリー専門部会の手嶋清仁部会長のほ場で収穫体験をしました。また、生産者が作ったアレッタの中華炒めを試食し、質問コーナーやJA職員によるブロッコリー・アレッタにちなんだクイズなども行いました。

収穫の仕方を説明

▶手嶋裕一さん



◀手嶋清仁さん



アレッタ
の
中華炒め



1/21
(日)

伊勢崎市 農業キッズプログラム事業

伊勢崎市が行う「農業キッズプログラム事業」に協力し、群馬県農業技術センターでの講話や施設見学、旬のいちごや地元野菜を使ったクレープづくりを行いました。

今回は群馬県農業技術センターの職員が講師となり、いちごの品種や新しい種類を選んで作り出す「育種」などについて学びました。その後、JA佐波伊勢崎女性組織協議会の指導のもと、調理施設「かきつばた」で料理教室を行いました。旬のいちご「やよいひめ」や地元野菜のアレッタ・高糖度ミニトマト「ルージュの宝石箱」など、好きな食材を選んでオリジナルのクレープを作りました。

農業技術センターで

▶講話



◀いちごのハウス
を見学

♪~

クレープづくり



2/2
(金)

伊勢崎マルシェ

伊勢崎市やJAなどで構成する伊勢崎市地場産農産物等利用促進協議会が主催し、伊勢崎市役所で行いました。地産地消推進の取り組みとしてファーマーズマーケット「からか〜ぜ」が outlets し、旬のアレッタ・トマト・ちぢみほうれん草・いちごの他、地元野菜を使ったパンも販売しました。



お客様に
好評でした





白菜とサバの炒め煮と かんたんカレーうどん

①白菜とサバの炒め煮

材料【3人分】

- 白菜…………… 1/4株
- しめじ… 100g(1/2パック)
- 人参…………… 50g
- サバの水煮(缶詰)… 1/2缶
- 油…………… 大さじ1
- 酒(または料理酒)… 50cc
- だししょう油…………… 50cc
- だしの素…………… 少々

作り方

- ①白菜は4cmほどの長さに切り、しめじは小分け、人参は食べやすい大きさに切っておく。
- ②鍋に油を入れ、白菜は固い部分から入れて炒める。しめじ・人参を入れ、しんなりするまで炒める。
- ③②にサバの水煮を汁ごと入れ、酒・だししょう油・だしの素を入れて、弱火から中火で15分ほど煮る。
- ④お皿に盛り付けたら、できあがり。

②かんたんカレーうどん

材料【1人分】

- 水…………… 250cc
- お好みのレトルトカレー…………… 1袋
- 油揚げ…………… 1枚
- 長ねぎ…………… 小1本
- 冷凍うどん(ゆでうどんでも可)… 1袋
- だしの素…………… 少々
- しょう油…………… 少々

作り方

小鍋に、水・レトルトカレー・食べやすい大きさに切った油揚げと長ねぎ・うどんを入れて煮て、だしの素としょう油で味をととのえたら、できあがり。



Let's enjoy cooking!!

わたしの おすすめ料理

伊勢崎市三室町
木暮 とも子さん



★ワンポイント アドバイス★

辛いものが好きな方は、鷹の爪を入れて炒めるのもおすすめです。

3月

うたの ひろば

玉村地区女性部短歌会

『花嫁のれん』 列車に乗って 被災地に春 早く来い来い
原 静子

注連縄の 作れる事の 早めに作り 正月を待つ
重田きみ江

伊勢崎・東・境・玉村・赤堀女性部 親睦研修会を開催

11月22日から2月1日にかけて、各区の女性部は親睦研修会を行いました。房総半島・川越・沼田など地区ごとに行き先は様々で、観光や買い物などを楽しみました。会員同士の交流も深まり、有意義な研修会となりました。



▲川越の聖天宮で(赤堀地区女性部)



▲道の駅おおつの里「花倶楽部」での花摘み体験(伊勢崎地区女性部)

JA佐波伊勢崎女性組織協議会・ 助けあい組織「たんぼぼの会」 JA常勤役員との意見交換会

2月7日、JA佐波伊勢崎女性組織協議会と助けあい組織「たんぼぼの会」は、本店でJA常勤役員との意見交換会を開き、20人が参加しました。

意見交換会では、女性組織活動における課題やJAへの要望など、さまざまな意見が出されました。地域農業の発展に貢献しているJA青年部と交流の場を設けてもらい、親睦を深めてお互いに協力しながら地域活性化に向けた取り組みなどを行いたいと意気込みも話しました。



▲積極的に意見を伝えます

俳句

早春にそつと顔出す福寿草

伊勢崎市今泉町 松島 敦美

日脚伸ぶ裸の木々も影伸し

梅見酒幼なじみが集い来て

伊勢崎市戸谷塚町 樋口 幸子

夏が好き旅行いきたいのんびりと

ひとり住みのんきに昼寝ひまつぶし

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎

元日や小さき宮の鈴の音

初詣で上々吉の賑やかさ

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

春兆すことりと動く考の鎌

無限なる大地の息吹風光る

伊勢崎市境下武士 中島 薫

ふきのたふ朝の膳に出「喝」と言ふ

玉村町上新田 新井 和夫

園児らの押しくらゐ頭春動く

兵庫県明石市 小田 慶喜

老ゆる身を小さく縮め春吹雪

兵庫県明石市 小田 和子

川柳

のんびりと過ごす一日予定なし

暑い日はぬるめのお湯で行水す

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎

各党の質問おなじ時のムダ

終活もそろそろ準備言葉だけ

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

麦踏まれ喜び勇んで分薬す

玉村町上新田 新井 和夫

麦踏の記憶を語る足の裏

兵庫県明石市 小田 慶喜

春スキー禁句の受験生ガンバ

兵庫県明石市 小田 和子

短歌

受け取りし喪中のハガキに思い出す

文学少女の貴女の笑顔

肩こりにひと日悩みてアンメルツ

痛み癒えよと朝の体操

伊勢崎市波志江町 小倉キヌ子

宝物見ては楽しむ子らの顔

自家は心のよりどころかな

伊勢崎市今泉町 松島 敦美

サークルへ行けば友達にぎやかに

時間忘れて帰るは淋し

あの人を見れば見る程嬉しさが

込みあげ話きようはどうしよう

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎

朝夕に孫が顔だす受験生

祈る合格道真さまへ

大寒や今朝の体操着ぶくれて

空見上れば残月苦笑

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

春うらら布団を干して良く眠り

夢を見ました目覚めも良く

玉村町上新田 新井 和夫

梅が香につられるやうに公園を

リハビリを兼ねゆつくり歩む

兵庫県明石市 小田 慶喜

豆撒きの鬼役お疲れさまでした

園児ら元気いつばいのこゑ

兵庫県明石市 小田 和子

追い風

伊勢崎市戸谷塚町 飯島美枝子

ヤッホーと叫びたくなる追い風に

ペタルを放し吾は鳥になる

ふんわりとプラザへ寄り道片脚着地

羽を窄めて丹頂気取る

とつとつと階段登り硝子戸に

丹頂ならぬアヒルの短足

折り込み都々逸

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎

「暑い日」

①雨は嫌いだ ②月夜が好きだ

③いつもこまるよ ④陽照りの日

「夕立」

⑤夢に出て来た ⑥うるさい天気

⑦だから気まぐれ ⑧近づけぬ

読者の声

飛翔1月号に寄せられたおたよりを紹介します。

JA×タイミーがある
と初めて知りました。年
老いた夫婦で仕事をして
いるといつ何があるかわ
らないので、もし何かの
時には利用したいと思い
ます。日常生活の応援で
FMラジオの番組、料理な
ど利用したいと思います。

(Tさん)

農業の人手不足が深刻
化する中、短期労働力の需
要が高まっています。短時
間でも人手が欲しい！とい
う場合はぜひタイミーを
活用してください。また、
JA佐波伊勢崎のラジオ番
組「JAくらしナビ」では

旬の農産物情報などを
お知らせしていますので、
ぜひ聴いてみてください。

楽しく読ませていただ
いています。若い人の活
躍は期待しています。

(Wさん)

「若手職員をもっと知っ
てもらいたい」という思い
から掲載し、今月号から
「JA佐波伊勢崎 元気印」
という名前になりました。
名前のおお元気な職員
を紹介していきますので、
これからのJAを担う若手
職員への応援をお願いいた
します。

編集後記

今月号から紙面を少しリニ
ューアルしました。特に表紙
は見え方が変わったので違っ
た印象を受けるのではないで
しょうか。また、「青年部の趣
味」から「農と人」というテ
ーマに変更し、初回となる今
月号は大人気で撮影させてい
だきました。

ちなみに、表紙の塩谷剛久さ
んが手に持っているトマトの

編みぐるみは奥様の手作りだ
そうです。また、塩谷さんが表
紙に登場し
た2008
年の飛翔で
は、息子の
蓮さんは10
歳！とって
も大きくな
りました。



右端が剛久さん、
その隣が蓮さん

今後も農家紹介は続けてい
きますので、ぜひチェックし
てみてください！

すずき ももこ
あずま支店 **鈴木 桃子** (25歳)



【仕事内容】 自動車共済の契約や共済代理店業務を行っています。

【仕事でうれしかったこと】 お手続きの際に「分かりやすい説明だった」と言ってもらえると、うれしくやりがいを感じます。

【心がけていること】 お客様にとって安心・充実な保障になっているかを確認し、提案できるように積極的にコミュニケーションをとっています。

【今後の目標】 お客様のご希望に添った提案ができるように、日々知識を増やしていけたらと思います。



あずま支店の鈴木桃子です。入社して3年目になります。好きな野菜はきゅうり。趣味はライブ観戦・旅行です。

あずま支店からのお知らせ

3月から当JAは新年度がスタートしました。ただいま『自動車共済のお見積りキャンペーン』や『新NISAのお知らせ活動』を支店一丸となって実施しております。ぜひお気軽にご相談ください。

所属長より

鈴木担当は居るだけで周囲の人を幸せな気分させる不思議な魅力の持ち主です。責任感も強く、持ち前のガッツで組合員や利用者の期待に応えられるよう日々努力しています。

今後も当JAの職員として更なる成長と活躍を期待しています。



ふじくら たくま
あずま営農センター **藤倉 拓真** (23歳)

【仕事内容】 資材館で、肥料や農薬の発注・配送などのお客様対応をしています。また、時期に合わせて生産者を巡回し、肥料や農薬、苗など必要な資材の推進業務も行っています。

【仕事でうれしかったこと】 少しずつではありますが、自分の知識を活かして1人で仕事をこなせた時はうれしく感じますし、もっともっと頑張ろうと思えます。

【心がけていること】 まだまだ知識がないため分からないことが多いですが、分からないことはそのままにせず、すぐに質問し確認するようにしています。

【今後の目標】 まずは、皆さんに顔と名前を覚えていただけるように積極的に巡回をし、生産者の方々とコミュニケーションを取っていきたいです。そして、生産者の方々にベストな提案ができるように、知識をつけていきたいです。



あずま営農センターの藤倉拓真です。入社して1年目になります。好きな野菜はきゅうり・じゃがいも。趣味は野球観戦・ゴルフです。

所属長より

藤倉担当は素直で真面目な性格であり、素敵な笑顔と親切な対応で組合員からの評価も上昇中です。今後も色々経験しながら、あずま営農センターの顔、JA佐波伊勢崎の顔になるよう期待します。

あずま営農センターからのお知らせ

春の野菜栽培に向けて営農指導・営農相談などを受け付けています。また、4月には資材館の売り出しを予定しておりますので、ぜひあずま営農センターへお越しください。お待ちしております！

ネギ栽培について



ネギは佐波伊勢崎管内で作付けが盛んに行われている品目です。ネギ栽培における行程ごとのポイントを押さえ、高品質なネギ栽培を行いましょう。

1 播種・育苗

育苗は高品質なネギを作るために重要な作業です。管理をしっかり行い、健全な苗をつくることを心がけましょう。

① 温度管理…ネギの発芽適温は15〜25℃、生育適温は15〜20℃です。比較的涼しい温度を好み、25℃以上の高温になると生育が劣るようになります。

② 乾燥させない…ネギは基本的には乾燥に強く、過湿に弱い性質を持っています。種や苗は乾燥に弱いいため、様子を見ながらかん水を行います。

2 基肥

ネギは生育期間が長いため、基肥では緩効性肥料を使用しましょう。基本的には基肥は控えめにし、生育に合わせて少しずつ追肥を行うようなやり方が望ましいです。

3 定植

定植方法は主に簡易移植機によるもの、挿し苗による定植があります。現在増えているのは、簡易移植機による定植方法で、挿し苗定植に比べ、定植作業が省力的です。定植前に苗をしっかりと湿らせておくことで、定植作業の効率化を図ることができます。



簡易移植機による定植の様子

4 雑草対策

雑草が繁茂してしまうとネギの生育に影響するだけでなく、病害虫の発生源になることがあります。定植後は特に苗が小さく、雑草に負けやすい時期のため、雑草発生前に定植後で登録のある除草剤

を処理しましょう。土壌が極度に乾燥していると効き目が薄くなり、反対に過湿状態では薬害の発生が懸念されるので、土壌の状態をよく確認してから処理をしましょう。

5 土寄せ・追肥

ネギは生育に合わせて土寄せを行い、肥大の促進や軟白部を確保します。商品価値を高めるためには必要不可欠な作業になります。寄せる土の量で効果は変わり、少ないと肥大、多いと伸長が促進されます。

① 生育初期…肥大を優先させるために軽く寄せる。
② 生育中期〜後期…伸長を促進させるため十分に寄せる。特に最後の土寄せは軟白部の境が不鮮明になる「ボケ」の発生を防ぐため、しっかりと寄せましょう。

毎回の土寄せ前には、追肥として速効性肥料を施しましょう。また、土壌中の病害虫対策として殺菌剤・殺虫剤の処理をしましょう。

⚠️夏場の土寄せや追肥は根の痛みや株の徒長が発生して株を弱らせる原因になるため、控えましょう。

6 病害虫防除



追肥の様子

栽培期間が長いいため、様々な病害虫の発生リスクがあります。予防・発生初期の防除に努めましょう。特に、ネギネクロバネキノコバエや黒腐菌核病等、土壌中の病害虫については一度発生してしまうとその後の対策が困難となるため、まずは発生させないことを心がけましょう。また、周りの生産者にも配慮して地域全体で発生及び蔓延の対策を行います。



ネギネクロバネキノコバエ



黒腐菌核病

(伊勢崎地区農業指導センター)



食べ物で紫外線対策

紫外線量が増え始める春からしっかりと対策を行うことが美しい肌への近道です。日焼け止めクリームなどの紫外線対策は必須ですが、普段の食事を意識し内側からケアをするとさらに美しい肌になれるでしょう。今回は、春の紫外線対策にお勧めの栄養素を三つお伝えします。

■ ビタミンA

ニンジンなどの緑黄色野菜、レバーなどに含まれるビタミンAには、紫外線でダメージを受けた肌を修復する働きがあります。ビタミンAは、抗酸化作用があるため美肌づくりには欠かせない栄養素です。緑黄色野菜に含まれるベータカロテンは、体内で必要に応じてビタミンAに変わります。油と一緒に取ると吸収がされやすくなるため、炒め物にしたり、ドレッシングをかけると良いでしょう。今が旬の、甘くてジューシーな春ニンジンにマヨネーズを付けて食べるのもお勧めです。

■ ビタミンC

野菜、イチゴなどの果物に含まれるビタミンCには、染みのもとになるメラニンの生成を抑える働きがありま

す。染みを防ぐには、食事からビタミンCを取り、メラニンが過剰に作られないことが重要ですが、ビタミンCは、体内に蓄えられないため、小まめに取りるようにしましょう。しかし、余剰分は尿中に排出されるため、一度に過剰に取るのは控えてください。間食や食後のおやつに果物を食べると手軽にビタミンCが取れます。

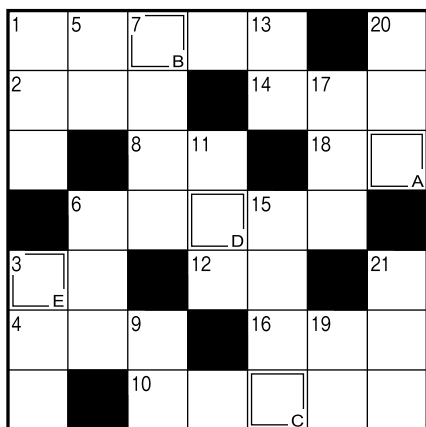
■ ビタミンE

ゴマ、ナッツなどに含まれるビタミンEには、血行を促進し、肌の代謝を高める働きがあります。肌の代謝が高まると染みのもとになるメラニンの排出が促されるため、紫外線対策には、ビタミンEは欠かせない栄養素です。ビタミンCと一緒に取ると抗酸化作用が高まるのでサラダにナッツをトッピングして食べると良いでしょう。

食べ物で紫外線から肌を守り、美しい肌を保ちたいですね。



クロスワード



■ 1月号の答え

シ ユ プ ー ル

ヨコのカギ

- ① 冬がウインターなら、春は
- ② 天ぷらやフライに付けられています
- ③ 煮物を作るときにすくうこともあります
- ④ 水中をふわふわと漂う生き物
- ⑤ 平面は2次元、立体は
- ⑥ 桃太郎がきび団子を着けていた場所
- ⑦ 入学式で胸に着けるお母さんもいます
- ⑧ メジロやヒヨドリが吸うもの
- ⑨ 関東一、——裁判所
- ⑩ 漢字で書くと土筆。春の山菜です
- ⑪ オンの反対語

タテのカギ

- ① ゴルフプレーヤーがカードに記録します
- ② 眠いときに出ます
- ③ アマではありません
- ④ お花見といえばこの花
- ⑤ テレビやエアコンの操作に使います
- ⑥ お酒は飲めません
- ⑦ みそ汁の具にしてもおいしい二枚貝
- ⑧ ストレスがたまるとこぼしたくなることも
- ⑨ ダブルプレーともいいます
- ⑩ 湯が冷めないよう——ポットに入れた
- ⑪ 当たりかな、外れかな
- ⑫ 山梨県の県庁所在地である市
- ⑬ 馬に乗る人のこと

ご応募方法

- クロスワードを解き、A～Eの順に文字を並べてください。
- ハガキに ①答え ②住所③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦本誌の感想やイラストなどをご記入のうえ、〒372-0812 伊勢崎市連取町3096-1 J A 佐波伊勢崎広報係宛にお送りください。
- ※投稿・応募いただいた方の個人情報はプレゼントの発送、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。前記の目的以外には使用いたしません。
- 締め切りは4月10日(水) (当日消印有効)
- クイズ当選者には、抽選で5名の方に直売所利用券をプレゼント。

当選者発表

- 1月号クイズ当選者は次の方々です。おめでとうございます。
- 【応募総数27通】 ()は町名、敬称略
- 竹内 光 (伊勢崎市稲荷町)
 - 新井 久子 (伊勢崎市西小保方町)
 - 岡芹日登美 (伊勢崎市境上矢島)
 - 根岸八千代 (玉村町飯塚)
 - 藤生 浩晃 (伊勢崎市市場町)

■ 事業の概要 令和6年1月末日現在		
項目	金額	前年対比
貯金高(実残)	1,846億5,989万円	100%
貸付金高(実残)	510億3,842万円	100%
長期共済保有高	3,817億9,555万円	97%
購買品供給高	40億5,064万円	98%
販売品販売高	100億8,434万円	103%
項目	員数・金額	前月対比
正組合員	6,169人	3人
准組合員	13,778人	9人
総組合員	19,947人	12人
出資金	24億8,835万円	52万円

■ 理事会 1月31日、本店で理事会が開催され、次の事項が協議されました。

【可決案件】.....

- 令和5年度決算棚卸監査計画書(案)について
- 令和5年度第3・四半期場所別部門別損益計算書について
- 令和5年度 決算方針について(案)
- 有価証券の減損処理基準の制定について
- 令和5年度決算見込について
- 広域種子センター建設予定地の土地賃貸契約書について
- ファンドラップサービスの導入および信用事業方法書・業務内容方法書の変更について
- 経営者保証ガイドライン関連の対応について(案)
- さかいライスセンター糶摺機及び色彩選別機の更新について

【報告連絡事項】.....

- みのり監査法人 期中III日程表について
- 12月末組合員数及び出資金額一覧表について
- 12月末金融事業部実績について
- 共済推進実績について
- 12月末営農販売事業部実績について
- 12月末生活事業部実績について
- 12月末資産運用事業部実績について

【その他報告連絡事項 20件】.....

※理事会の議事録は支店で閲覧できます。
支店長にお問い合わせください。

退職者	お世話になりました(2月29日付)▷長内 麻耶《南支店》
-----	------------------------------

直 売 所 通 信

Vol. 36

いよいよ、桜の季節になりました！
百菜館の向かいにある、伊勢崎市みらい公園(いせさき市民のもり公園)では、河津桜が鮮やかなピンク色に染まります。

百菜館では、桜が咲き誇る時期に合わせて土日に
🌸 「さくら祭り」 を開催中 🌸

お花見のお供に、焼きそばやフランクフルトなどはいかがでしょうか？

(開花状況によって早めに終了する場合がございます。ご了承ください。)

3月は、お彼岸に向けてたくさんの切り花や旬な果物、地元で採れた新鮮な野菜などを多数取り揃えております。
 たくさんのお客様のご来店をお待ちしております。





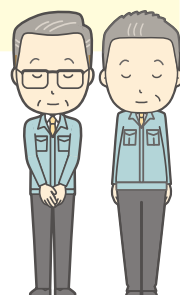

今回は
百菜館

農機センター店舗統合のお知らせ

日頃より当組合の農機事業をご利用いただき誠にありがとうございます。
さて、当JAの農機事業につきまして、今後も組合員の皆様にご利用いただくにあたり、次のような課題があると判断しました。

- 農機事業の担当者は多種多様な農業機械の整備知識を習得する事が必要ですが、現在の整備士は50歳以上が多く、若い職員の育成が急務です。現在の3拠点かつ少人数の体制では後継者育成は非常に難しく、今後の事業運営が難しくなることが予想されます。
- 現在、農機事業の設備等は老朽化が激しく、早急に設備更新が必要ですが、それぞれの施設での更新は多額の費用が見込まれます。
- 繁忙期には農機担当者は現場修理対応に追われ、各農機センターに持ち込まれた農機具の修理までは迅速に対応できない状況です。

これらを総合的に判断した結果、農機事業体制維持のため、**令和6年3月29日**をもちまして、農機センターさかい店ならびに東部店を閉店させていただくこととなりました。皆様の長年にわたるご厚情に心から感謝申し上げますとともに、今後は農機事業の更なる体制強化のため、農機センターいせさき店へ拠点を集約し、新たにJA佐波伊勢崎農機センターとして事業展開してまいります。



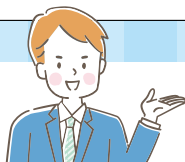
お問い合わせ先 営農販売事業部 生産資材課 TEL:0270-20-1226

「自動車センターいせさき店」閉店のおしらせ

日頃より当JA自動車事業をご利用いただきありがとうございます。
先月号でもお伝えしましたが、**令和6年3月22日**をもちまして、「自動車センターいせさき店」を閉店させていただくこととなりました。皆様の長年にわたるご厚情に心から感謝申し上げますとともに、閉店によりご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。



お問い合わせ先 生活事業部 生活燃料課 TEL:0270-20-1229



新採用職員募集!



JA佐波伊勢崎では、**令和6年3月25日(月)**から**4月17日(水)**まで令和7年度新採用職員の応募受付を実施します。

募集要項は当組合HPのリクルートページにてご確認ください。
ご興味のある方はマイナビ2025のエントリーをぜひお願いします!

お問い合わせ先 総務部 人事課 TEL:0270-20-1222

JA佐波伊勢崎
リクルートページ



マイナビ2025



組合員の皆様へ

私たち
アサンテが
地域を巡回します

シロアリ対策は
JAにおまかせ
ください

大切な住まいを守るために、シロアリ・湿気対策は必要です。
住まいの不具合が起きやすい部分は普段目につかない床下や水回り。
定期的なお家の健康診断で早期発見・早期対応を！

無料床下診断実施中です
施工は有料となります。

診断・見積りだけのご利用も大歓迎！
シロアリ防除に関するお問い合わせ・お申し込みは、
お近くのJA窓口まで



春先に羽アリが出た

床がギシギシ・ブカブカする

垣根や木杭がグラグラする

築15年以上で、一度も防除をしたことがない

ひとつでも当てはまったら
床下診断がおすすめだワン

アサンテイメージキャラクター
しろあり犬 **ノア**



生活事業部 生活燃料課

☎ 0270-20-1229

取扱: JA全農ぐんま

<診断・契約・施工>



株式会社 アサンテ

広報誌専用フリーダイヤル


0120-955-694

午前 8:30
午後 7:30
(土日祝日も受付)

当JA職員が優秀賞を受賞

1月19日、JA群馬中央会は前橋市のJAぐんま研修センターで2023年度JA戦略型中核人材育成研修会の修了論文発表大会を開きました。県内13JAから15人が登壇し、当JAの黒澤諭史さんを含む3人が優秀賞を受賞しました。

黒澤さんは「地域密着と総合事業におけるJAの伸びしろを考える」というテーマで発表。2月15日に都内で行われた全国研究発表会に出場しました。



▲発表する黒澤さん

各種相談会 【予約制】

税務無料相談 《開催場所：JAラ♡ラ♡タウン》			
藤井会計事務所	4月 4日(木)	5月 2日(木)	午後2時～
干川会計事務所	4月17日(水)	5月15日(水)	午後2時～
法律無料相談 《開催場所：本店》			
田中・二階堂 法律事務所	4月10日(水)	5月 8日(水)	午後1時～
各支店窓口へお気軽にご相談ください。 (※当日3日前までにお申込みください。)			
年金無料相談			
JAラ♡ラ♡タウン	4月14日(日)	午前9時～ 午前11時まで	
各支店窓口へお気軽にご相談ください。 (※当日3日前までにお申込みください。)			
土地活用無料相談			
土地を売りたい! アパートを建てたい! など土日も営業! 相談は随時受付をしております。 お申し込みは資産運用事業部まで ☎0270-20-1233【水曜・祝日定休】			

伊勢崎市茂呂町

石原

清實さん

錦鯉の飼育・養鶏

子どもの頃から生き物が好きだったという石原清實さん(86歳)。錦鯉の飼育は15年ほど前から始めました。本格的にやりたいと思いい、新潟県小千谷市の養鯉場に通った時期もあるそうです。鯉のために池を作り、現在は50〜60匹を飼育しています。一番大きいものは体長が95cmもあるそうです。採卵やふ化した稚魚の選別など、より良い錦鯉を育てるために日々研究をしています。「同じような品種をかけ合わせても様々な模様が生まれる。個体差があるのがおもしろい」と魅力を話します。

養鶏は親の代から数えると100年ほど

続いているそうで、県内でもめずらしい「平飼い」にこだわっています。飼料が高騰しても卵の価格は上げずに販売しており、「年も年だし儲けを考えても仕方ない。社会奉仕だと思っている」といいます。錦鯉も鶏も、とにかく好きという思いがあったから続けてこられたと話す石原さん。他にも花や野菜の栽培も行っており、今は近所に配るための野菜づくりも楽しんでいきます。「人に喜んでもらえることがうれしい。今までの恩返しだと思つて続けていきたい」と笑顔で話してくれました。これからも好きなことに情熱を注いでいきます。



養鶏場



ふ化させて飼育している錦鯉



3月の花

アカバナトキワマンサク (赤花常盤万作)

マンサクという花名は豊かな花つきの豊年万作、または春一番にまず咲くことに由来する。

この花は変異が多く、普通黄色のイメージが強い。庭木として栽培する落葉小高木で、高さ3〜10メートルほどになる。本州・四国・九州の山地に生える。

まんさくの花咲き土の色うごく
小田倉 白流子

(伊勢崎市西部公園にて)

【写真・文寄稿】伊勢崎市連取町 大竹 光司さん

表紙紹介



トマトの葉かき作業

表紙の写真は、境地区でトマトやブロッコリー、アレッタなどを栽培する塩谷剛久さんのご家族とパート職員です。

パート職員は友達や近所の方、農業求人サイトからなど、平均6人ほど雇っています。剛久さんのことを聞くと「仕事を切り盛りしてすごい」と話してくれました。それを受け、剛久さんは「パートさんがいてこそできる。主婦目線で野菜を扱ってくれるのでとても助かっている」といい、ご家族も含めて仲の良さや信頼関係が伝わってきました。

今後も皆さんの手を借りながら、長く農業を続けていきたいと目標を話します。